

## 要 点 録

会議の名称 第7回田村駅周辺整備基本構想推進会議

開催日時 平成30年10月30日(火)午後1時30分～午後3時30分

### 出席者

仁連 孝昭	滋賀県立大学 名誉教授
井 経子	社会福祉法人石龍会 チャイルドハウス 園長
辻村 忠嗣	田村町まちづくり委員会 委員長
金子 剛士	一般社団法人長浜青年会議所 新湖北グラントデザイン確立委員会 委員長
松本 秀章	滋賀文教短期大学 副学長
若林 浩文	長浜バイオ大学 理事長
柴田 善成	六荘地域づくり協議会 会長

### 欠席者

小八木 一男	田村町自治会 自治会長
川崎 他家廣	長浜地方卸売市場株式会社 代表取締役
畑下 嘉之	社会福祉法人青祥会 理事長
西寫 照毅	滋賀県長浜土木事務所 所長

(敬称略)

### 事務局(長浜市)

長浜市都市建設部：山田部長 井上技監 下司次長

長浜市都市建設部都市計画課：嶋田課長

長浜市都市建設部都市計画課田村駅周辺整備室：塚田室長 三浦主幹 和田主査

### 会議概要

- 1 開会の辞  
会議を公開とすることについて報告
- 2 あいさつ  
都市建設部 山田部長
- 3 第6回推進会議の結果について  
第6回要点録で結果を報告する。
- 4 議事  
田村駅周辺整備の進捗状況報告  
－ 事務局から説明 －

2) 主な質疑、意見等 (○ : アドバイザー、・ : 参加者、→ : 事務局)

<第6回田村駅周辺整備基本構想推進会議について>

- ・第6回会議後、半年が経過し提案された意見について、どのように対応されたか。
- 次の議事で説明させていただく。

<田村駅周辺整備事業スケジュールについて>

- ・基本設計業務は、基本的な図面を書いてもらうという理解で良いのか。
- はい。

<田村駅周辺整備検討図について>

- ・田村町まちづくり委員会と協議しているのか。
- 協議している。
- ・駅舎の形状は、地平駅で良かったのか。
- 「鉄道事業者であるJR西日本との協議によるもの」と基本計画に明記しており、現在協議を進めている。
- ・滋賀県交通局とは協議しているのか。
- 滋賀県交通戦略課と話をしている。
- ・具体的に田村駅がどういう駅になるのか。よく今まで事故がなかったと思うほどホームも狭く、あぶない駅。もっと特徴のある夢のあるような駅を地元と協議しながらつくりたい。ただの建物をつくるのではなく、蒸気機関車の形の真岡駅みたいなものができるか。例えば、田村駅は琵琶湖をイメージできるような駅にしてはどうか。あとは電車の本数を増やすなど、少しでも利便性をよくしてほしい。
- ・田村山、さいかち浜などのエリアマネジメントの中でどういう駅にするのか考えないと、長浜駅のようになりかねない。費用対効果も考えて欲しい。
- 委員のみなさんからのご意見をいただきながら、また、プレーヤーにもなっていただくことも考えながら、事業を進めていく必要があると思っている。駅については、JRと協議を進めており、費用対効果についても考慮しながら、夢のあるよい駅を整備することも加えて検討していく。しかしながら、駅の機能はあくまで、交通結節点であり、まちづくりにつなげていくためには、加えて駅前広場や、拠点としての機能を住民の方と一緒に作っていく必要がある。市としてはJRの乗降客数をふやす努力をし、JRにバリアフリー化を取り組んでほしいと話をしている。

<田村駅乗降客数1日3,000人に向けて>

- ・駅改修は3,000人を超えないと整備しないのか。公共的な施設を造る時は、バリアフリーは基本でないのか。また、たとえ数か月であっても、駅を降りたところに駐車場をつくるのは安全面からも問題。どうしても駐車場が必要というなら、大学の土地を貸してもよい。
- バリアフリー化することは大前提。一方で改札口の中も、バリアフリー化を進めていき

たいが、事業主体はJR。市の自由通路整備と合わせて進めてほしいが、3,000人をこえる駅のバリアフリー化を先に進めておられ、バリアフリー化できてないところがたくさんある。3,000人を超えていないため田村駅は優先順位が低い。優先順位を高めるためには、乗降客数が多い駅になる必要がある。西口駐車場については、場所を再検討する。

- ・駐車場整備などは理解できるが、駅が変わったから、たくさん乗車することでもない。大学が2つありポテンシャルは高い。日曜日の利用が少ないのであれば、県とタイアップしてピワイチなど、田村から自転車で長浜駅周辺の観光地へ行くような戦略が必要。
  - ・観光マップをつくることや、電動自転車をおくなどの対策も必要では。
- 具体策については、議論して考えていくことがたくさんある。田村町まちづくり委員会の方にもご意見をいただきながら進めていく。
- 現在、田村駅、自治会館に横断幕を設置し、JR利用を推進している。
  - ・駐車場整備など、短期的なことばかり。夢のあるような公共施設などの中長期的な取組の話はなにかあるのか。

→中長期的な事業として、産官学連携によるエリアマネジメント事業があるが、田村の魅力をつくっていくには、どのようなことが必要か、引き続き田村駅周辺の皆様にご意見を聞いていく。
  - ・田村の地権者にアプローチをしっかりと、協力を得ないと、勝手な民間開発ができてしまい、夢が描きにくくなる。

→地域の方がしっかりと認識してもらわないと、市場東側の活用したい土地が、虫食いになってしまうと以前の会議でも委員の皆さまから意見があった。そうならないためにも、しっかりと、計画をつくる必要があり、その場をこの推進会議にてお願いしている。
  - ・長浜だけでなく、日本全体で人口が減っている。空き家対策問題もあるなかで、田村に若い世代に住んでみたい、行ってみたいというブランド力を。宅地を分譲しただけでは購入されない。環境にやさしいなどの戦略をもってやらないと。

#### <エリアマネジメントの取組について>

- ・ぶんぶんひろばについては、5年程実施している。長浜市だけでなく、岐阜県、米原市、彦根市からも来られているが、駅を利用されず車で来られている状況。大学には併設園がないため、チャイルドハウスに協力してもらい実践的な学びの場を提供してもらっているが、毎回お願いすることもできず、学内でも実施している。生徒の学力向上と、地域課題に貢献できれば一石二鳥。田村でこのようなことをやっているから住みたいと思ってもらえているなら、多少なりとも貢献させてもらえる。引き続きやっていきたいと思っている。
- ・子供のあそび場の必要性については長浜市内の子育て世代のニーズは高い。六荘地域でも子育て支援事業をしているので、聞き取りに来ていただければ良いと思う。自由に遊べる公共スペースのサンサンランドは満杯。駐車場整備も良いが、子育て世代の期待に応えるような屋根のある自由空間施設の整備が田村地域の魅力を増進することにもなる。

#### <富山県高岡市の視察（概要）>

### <田村駅周辺整備に係るまちづくり支援について>

・UR都市機構に依頼して、まちづくり全部をやりなおすのか。

→UR都市機構がまちづくり会社、ハウスメーカーなどにヒアリング調査を行い、田村の事業性、可能性についてまとめてもらうもの。

・今まで議論していろいろな案が出てきた中で基本計画を策定したのに、なぜUR都市機構に頼むのか。

○民間デベロッパーが田村の住宅地開発に興味を示すかどうかを確認するもの、という理解でよいか。

→はい。「田村において、こういったイメージで取り込むのであれば、全国的にニーズがあり、人口流入が得られる・事業として成り立つ。」というようなことが分かれば、事業の推進につながると考えている。

・子育て施設をつくるようになった時はそうなるのか。

→土地活用の中で、地域の方がそれを良しとするなら考えられる。魅力のある地域なので、子育て支援をする民間が参入する可能性も考えられる。

エリアマネジメントについては、バイオ大学や、滋賀文教短期大学が一番軸になってもらいたい。西の拠点にバイオ大学、子育ての視点では文教短期大学が進んだ取り組みをしている。それに地域の方や企業がどういうふうにかかわっていくかを検討していくことが必要と考えている。

・大垣共立銀行が調査された「いい子供が育つ」都道府県ランキングでは秋田県が一番。学習のトップも秋田県。滋賀県は40番台。行政は秋田県がどういう施策をしているのか状況を知っているか。家を建てても、高校生になった時に、ちがうところへ行ってしまうので、ブランド力をあげる必要がある。ブランド力をあげるのは地域住民であり、地元の理解が大事。

→将来的な地域の取組として、高橋町では都市計画道路の延伸について説明させていただき、町として賛成するという決をとられている。あわせて、田村町を参考にまちづくりのための委員会をつくっていききたいという話も聞いている。

卸売市場については、田村駅周辺整備を進めていくという前提で勉強会を実施している。より具体的な話をしていきたいと思っている。

基本計画に基づいた内容をより具体化していくためには、地域の方、大学、まちづくり協議会の方々にお話し、イメージしてもらいたい。先進事例を見ていただくことが必要かと思っている。また、可能性調査をしっかりとやっていき、情報提供をしていきたい。

○田村駅周辺のポテンシャルは高いが、活かしきれていない。駅の整備をJRと市で進めているが、カギになるのは東と西をつなぐこと。JRと話をする時に東西をしっかりつながるような駅に。3000人確保のため駐車場整備など目先のことにとらわれてしまうが、駅をどうしていくか、民間開発と公共整備をいかに連携させるかが大事。

・住む人を増やすイコール住宅整備なのか。田村駅周辺のポテンシャルを活かすことによって、長浜全体の魅力があがり、長浜に人がとどまる。いつも上から田村を見て考えているが、違う視点で、例えば琵琶湖から見ることも必要。早くグラウンドデザインをつくること。

→スケジュールでも示している通り、すべての項目を等しく進めていこうという目標で半

年間動いてきた。

人口ダムは住宅だけでない。仕事先、教育問題もあるが、すべて行政がすることではなく、プレイヤーを探しながら、民間視点を意識していくことが必要。

議会で質問いただき、田村を含めた南長浜のグラウンドデザインを描こうというご意見をいただいている。行政の力、民間の力をいれたグラウンドデザインを描くことで、JR、国道、高速道路を活かしていくことを考えていくこととなる。

以上